第1号様式（第5条関係）

# 令和6年度　指定管理者年度総合評価表

| 作成年月日 | 令和7年7月1日 |
|---|---|

## 1　指定管理者概要

| | | |
|---|---|---|
| 施設名 | 尾岱沼ふれあいキャンプ場 | |
| 所在地 | 別海町尾岱沼岬町66番地1 | |
| 施設概要 | 中央管理棟(管理人住宅、事務室、シャワー室、コインランドリー売店、休憩室、トイレ、洗面所、湯沸し場、機械室、物品庫),物置駐車場、フリーテントサイト、キャンプファイヤー炉、野外炉、トイレ野外卓、グリルキャビン、炊事場、バンガローA、コテージ | |
| 指定管理者 | | ㈱別海町観光開発公社 |
| | 代表者 | 浦　山　吉　人 |
| | 所在地 | 野付郡別海町野付63番地 |
| 指定期間 | 令和2年　4月　1日～令和7年　3月31日 | |
| 指定管理者の業務 | 施設及び設備の保守点検・修繕に関する業務、施設の清掃及び環境保全に関する業務、外構等の管理に関する業務、施設警備及び防火管理に関する業務、備品類の管理に関する業務 | |
| 町の所管課 | 産業振興部　商工観光課 | |
| | 電話 | 0153-74-9254 |
| | E-mail | syoukou@betsukai.jp |

## 2　指定管理者による自己評価

| | |
|---|---|
| 評価 | 令和6年度は、4月～6月と9月～10月に定休日を定めた初年度でしたが、潮干狩り来場者の増加もありキャンプ場の利用客は6,788人（前年比+241人）と過去最高の来場客数を記録した昨年をさらに上回ることができました。また、観光協会実施の宿泊割引や割引クーポン事業もPR効果がありました。 |
| 今後について | ・老朽化した設備の破損等へも適切に対処し、クリーンで安全なキャンプ場づくりに努めていきます。<br>・HP、SNS等の活用等情報発信力の向上にも努めて参ります。 |

## 3　町（所管課）の総合評価

| | |
|---|---|
| 評価 | 施設の設置目的を踏まえ、関係法令等を遵守し適切に運営を行っていた。また、施設、設備等の修繕や更新が必要な箇所を把握し、随時町に報告を行っていた。定期的な清掃、草刈を行うなど維持管理がされていた。自主事業として、宿泊者限定の潮干狩りの開催等施設への誘客を促進する取組がなされていた。 |
| 指摘事項 | 設備等の経年劣化が進んでいるため、修繕が必要な場合は、規模に応じて事前に所管課と協議の上、計画的な対応を行うこと。 |

4　管理運営状況に係る個別評価

評価欄への記入内容
◎：　町が示した条件や内容を上回る水準で管理運営されていた
〇：　町が示した条件や内容が概ね達成されていた
×：　町が示した条件や内容が達成されていなかった
特記事項への記入内容
特記事項への記入内容は、評価が◎又は×となった項目についてのみ記載

（1）管理・運営状況

| 指標 | 評価 | 特記事項 |
|---|---|---|
| 開館日、開館時間の状況 | 〇 | |
| 法令の遵守の状況 | 〇 | |
| 適正な人員配置状況 | 〇 | |
| 従業員の労務環境確保の状況 | 〇 | |
| 障がい者の雇用状況（該当がある場合） | | |
| 従業員への教育・研修状況 | 〇 | |
| 緊急事態への対応状況 | 〇 | |
| 書類等の管理保存状況 | 〇 | |
| 報告書の提出状況 | 〇 | |
| 利用料金の取扱状況（該当ある場合） | 〇 | |
| 利用料金の減免状況（該当ある場合） | 〇 | |
| 口座管理、経理の区分状況 | 〇 | |
| 管理物件に対する損害賠償、第三者への賠償状況 | | |
| 付保する保険（保険加入を指定している場合）の状況 | 〇 | |
| 重要事項の変更の届出状況 | 〇 | |
| 施設の使用許可及び使用条件等の状況 | 〇 | |
| 施設、設備の保守管理状況 | 〇 | |
| 備品の管理状況 | 〇 | |
| 清掃業務、保安業務、その他必要な衛生管理業務等の状況 | 〇 | |
| 自主事業の状況（選定時に提案があった場合のみ必須） | | |

| | | |
|---|---|---|
| 環境への配慮（町から事前に条件を示している場合のみ必須） | | |
| 苦情・要望等の受入体制確保の状況 | ○ | |
| 苦情・要望等への対応状況 | ○ | |

5　他の事業評価実施状況

（1）セルフモニタリング

| | |
|---|---|
| 自主点検状況 | ・キャンプ場内・場内周辺の樹木が成長し、通行の妨げ・テント設営の邪魔になるところが増えてきており、危険な部分は随時伐採していきたいと考えます。<br>・昨年度設置の移動式サウナの利用について、利用者がほぼ無しの状態にあり、今後の利用、活用方法について関係各所と協議していきたいと考えます。 |

（2）定期モニタリング

| | |
|---|---|
| 定期報告状況 | セルフモニタリングシートが遅滞なく提出され、内容も適切であった。 |

（3）随時モニタリング

| | 実施回数 | 実施日 | 実施者 | 実施内容 |
|---|---|---|---|---|
| 実地調査状況 | 6回 | 4月3日 | 大村 | 施設状況確認 |
| | | 5月23日 | 大村 | 施設状況確認 |
| | | 6月8日 | 大村 | 施設状況確認 |
| | | 7月3日 | 大村 | 施設状況確認 |
| | | 8月7日 | 大村 | 施設状況確認 |
| | | 9月3日 | 大村 | 施設状況確認 |
| | 実施結果 | | | |
| | 建物及び設備の破損等がある場合は、適切に報告・修繕等の協議・対応を行った。 | | | |

（4）その他の状況

| | |
|---|---|
| 指定管理業務に関する財務状況<br>（計画と実績の状況） | 令和6年度は、過去最高の来館客数を記録した昨年をさらに超える利用がありました。施設利用料、売店収入合計では7,524千円、計画を752千円上回る収入となりました。経費については、定休日を設けたことによる水道光熱費、燃料費等の圧縮から計画内での支出に止まり、1,129千円の利益を確保できました。 |
| その他の取組状況<br>（運営に関する工夫） | ・令和5年度から開始した地元尾岱沼産ホタテの貝焼きを始め、まき等の販売品の充実をはかり、キャンプ場内で完結できるキャンプライフを利用者へ提案していきたいと考えております。<br>・HP以外にもSNSを活用したPRにも努めて参ります。 |